

中央電気倶楽部月報

◎巻頭言

「私と不動産事業」

／関電不動産開発株式会社 代表取締役社長 藤野 研一 氏

◎午さん会講演録

『コロナ後のベトナムビジネス状況とベトナムと日本の今後について』

／株式会社 VIT Japan 代表取締役 猪谷 太栄 氏

2023

8

Vol.854

中央電気倶楽部月報

令和五年八月一日発行 一般社団法人中央電気倶楽部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜二丁目二十五 電話〇六一六三四五一六三五(代) FAX〇六一六三四五一六八七七

倶楽部からのご案内

公開講演会開催のご案内

ロシアによるウクライナ侵攻開始から一年余り経過しました。ロシアとウクライナの関係は、中国と我が国との関係に類似する点があり、決して他所事ではないと言われています。特に、台湾問題をはじめ海洋進出を強める中国に対し、我が国はどうか対応すべきか理解しておく必要があります。このため、航空自衛官としての豊富な勤務経験があり、わが国の防衛に詳しく提言された織田邦男先生をお迎えし、ご講演をいただきます。なお、この講演会は会員に限定せず、どなたでも自由に出席できる公開の講演会ですので奮ってご参加下さい。

日時 令和五年八月八日(火) 十三時三十分～十五時十分

場所 (一社)中央電気倶楽部 五階大ホール
演題 『台湾有事と日本の課題』
講師 元航空自衛隊 空将、織田 邦男 氏

聴講料 無料

申込方法 倶楽部事務局(三宅、更谷、藤川)へ電話、FAXまたはEメールにて、聴講希望者の所属団体名、役職名、氏名をご連絡下さい。登録させていただきます。当日受付時に確認させていただきます。

締切 令和五年七月三十一日(月)
ただし、先着(〇〇名様)締め切ります。
TEL 〇六一六三四五一六三五(代)
FAX 〇六一六三四五一六八七七
Eメール kouenkai@chuodenki-club.or.jp

今後月報のお届け時期が遅くなります

物流業界における人手不足が極めて深刻化しておりますことから、配送方法を「ゆうメール」に変更する工夫を行いますが、それでも今後お届け日は二日～三日程度遅くなる可能性があります。なお、ホームページにはいち早く掲載するよう努めますので、事情をご理解賜りますようお願いいたします。

「会員感謝祭」のご案内

昨年ご好評をいただきました会員感謝祭を次の通りご案内いたします。皆様方にゆつたりと音楽をご鑑賞いただき、美味しいお食事をお楽しみいただけます。お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

日時 令和五年八月二十五日(金) 十七時半～二十時

場所 中央電気倶楽部五階大ホール
出演者 山本純子さん(フルート)
今西彩菜さん(ヴァイオリン)
宮國香菜さん(ピアノ)

参加費 八千円(会員)、一万円(非会員)
定員 六十名(先着順)

※後日請求書をお送り致しますのでお支払い願います。

※お申込みにつきましては、FAX又はEメールにてお願いいたします。(氏名年齢連絡先をご明記ください)なお開催日三日前以降のキャンセルは食事代実費をご負担願います。

お問い合わせは、倶楽部事務局(総務)まで。
TEL 〇六一六三四五一六三五
FAX 〇六一六三四五一六八七七
Eメール kanshasai@chuodenki-club.or.jp

◎ 会員感謝祭開催のご案内 ◎

昨年ご好評をいただきました会員感謝祭を開催いたします。今年度はフルートなどの楽器を演奏した方が多く、お食事をお楽しみいただけます。友人をお誘いあわせの上、是非ご参加下さい。

◆日時	令和五年八月25日(金)17:30～20:00分
◆場所	中央電気倶楽部 5階 大ホール
◆定員	60名(先着順)
◆参加費	8,000円(会員)、10,000円(非会員)
◆出演者	山本純子さん(フルート)、今西彩菜さん(ヴァイオリン)、宮國香菜さん(ピアノ)

◆申込みについて(氏名・年齢・連絡先を明記し、Eメール又はFAXにて毎月10日(金)までにお申込み下さい。)
Eメール:kanshasai@chuodenki-club.or.jp
FAX:06-6345-6877
※FAXでお申込みは必ず宛先欄に必要事項を記載し、お申込み下さい。お振込の振込先は振込票裏面に記載されています。

会員ご家族婦人会見学会のご案内

会員ご家族婦人会見学会は、明石海峡大橋を渡り淡路島に出かけます。午前中は株パソナによる「地方創生セミナー」と昼食のセットプランです。同社は、淡路島に本社移転したことが話題となりましたが、その狙いや、廃校活用や農業の六次産業化など、同社が淡路島で取り組む地方創生事業について話を伺います。ランチは地元野菜メインとしたお料理をお楽しみいただきます。

午後は、北淡震災記念公園野島断層保存館にて平成七年一月に発生した兵庫県南部地震の震源となった活断層を、専属ガイドの案内にて見学いただきます。

開催日 令和五年九月二十八日(木)【雨天決行】
集合 八時三十分 中央電気倶楽部一階「ロビー」
行程 アロフト大阪堂島(旧堂島ホテル)：淡路島(株)パソナ(地方創生セミナー)：昼食：北淡震災記念公園野島断層保存館(見学)：淡路ハイウェイオアシス(お土産)：アロフト堂島前と大阪駅(十七時三十分頃帰着予定)

※交通事情により遅れる場合があります。
定員 四〇名(同伴歓迎)先着順とします。
会費 会員 一五、〇〇〇円
会員外(家族含む) 一五、〇〇〇円(会費は当日ご持参下さい。)

申込み 九月二十一日(木)までに事務局(松本まで)お申し込み下さい。
メール matsumoto@chuodenki-club.or.jp
TEL 〇六一六三四五一六三五
FAX 〇六一六三四五一六八七七

*開催日の前々日以降は、会費の半額をキャンセル料として申し受けます。





大ホール綴帳

八月のスケジュール

三十一	木	社交ダンス教室 (B一〇号室) 十七時
三十	水	社交ダンス教室 (B一〇号室) 十七時
二十九	火	
二十八	月	
二十七	日	将棋部夏季懇親会・指導日
二十六	土	会員感謝祭 (五階大ホール) 十七時三十分～二十時
二十五	金	午さん会 休会
二十四	木	社交ダンス教室 (B一〇号室) 十七時
二十三	水	
二十二	火	
二十一	月	
二十	日	麻雀例会 (麻雀室)
十九	土	いなづま旬会 (二二七号室) 初・中級者向け囲碁教室 (二〇五号室) 十時～十二時 囲碁部指導日
十八	金	午さん会 ビデオ映画鑑賞会 『樺太一九四五年夏 氷雪の門』(一〇九分) 主演 二木てるみ
十七	木	
十六	水	社交ダンス教室 (B一〇号室) 十七時
十五	火	夏季休館日
十四	月	夏季休館日
十三	日	夏季休館日
十二	土	夏季休館日
十一	金	夏季休館日
十	木	社交ダンス教室 (B一〇号室) 十七時
九	水	
八	火	公開講演会 (五階大ホール) 十三時三十分～十五時十分
七	月	
六	日	
五	土	囲碁部例会 撞球部例会
四	金	午さん会 休会 サマーフェスティバル (電社会・青年会共催) 十七時三十分～二十時三十分 公演『真夏の夜のジャズ講座』 出演者 ピアノ 赤松 真理 さん ベース 田代 泰之 さん ドラム チーチョ西野 さん
三	木	電寿会例会 (三一六号室) ゴルフ部例会 (茨木高原CC) 絵画部 (B一〇号室) 社交ダンス教室 (B一〇号室) 十七時
二	水	
一	火	

※予定変更の場合は改めて連絡いたします。

目次

8月のスケジュール — 2
9月・10月の予定
巻頭言 — 4
写真 — 5
講演録 — 6～14
倶楽部だより — 15～16
同好会だより — 17～19
倶楽部からのご案内 — 20

創立：大正3年11月
建物(本館)：昭和5年竣工
会員数：1,428名

法人指定会員 1,195名
個人会員 233名
(R.5.7月末現在)

電社会講演

◎九月七日(木) 十六時～十七時
講演(仮)『海上自衛隊の現状』
自衛隊大阪地方協力本部 阪南地区隊長 沢村 憲一氏
二等海佐

九月の午さん会講演(予定)

◎九月一日(金)
講演『国家安全を強調する中国の社会統制政策』
『最近の情勢の分析』
東京大学大学院 総合文化研究科 阿古 智子氏
教授

◎九月八日(金)
講演(仮)『コロナ禍のリスクコミュニケーション』
グローバルヘルスクommunications代表 ヘルスクommunicationsベジャリスト 蝦名 玲子氏
保健学博士

◎九月十五日(金)
講演『台頭するインドとどう向き合うべきか?』
防衛大学校 総合安全保障研究科 伊藤 融氏
教授

◎九月二十二日(金)
講演(仮)『インテリジェンスで読み解く米中と経済安保』
評論家、情報史学研究者 江崎 道朗氏

◎九月二十九日(金)
講演(仮)『はやぶさ2の成果と今後の拡張ミッションについて』
JAXA宇宙科学研究所 藤本 正樹氏
副所長

お詫びと訂正
月報七月号二頁の「九月の午さん会講演(予定)」の記載で、九月八日(金)の予定について記述内容が誤っており、心よりお詫び申し上げます。
(誤)「仮カーボンニュートラルな発電について」水素発電とアンモニア発電を中心に「近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室長 織田 貴士氏」
(正)「(仮)コロナ禍のリスクコミュニケーション」グローバルヘルスクommunications代表 ヘルスクommunicationsベジャリスト 蝦名 玲子氏
保健学博士

◎十月六日(金)
講演(仮)『岸田政権の行方』
産経新聞社 特別記者 石井 聡氏

◎十月十三日(金)
講演『ロシアによるウクライナ侵攻の实情』
『両国駐在経験から分かったこと』
産経新聞社 大阪経済部 黒川 信雄氏
記者

◎十月二十日(金)
講演(仮)『正岡子規と明治の群像』
『子規の叔父加藤拓川への手紙から見る日露戦争の時代』
樹木医 正岡子規研究所主宰 正岡 明氏
正岡律(正岡子規の妹)のご令孫

◎十月二十七日(金)
講演『小林一三』
『電力は社会の基盤』
逸翁美術館・小林三三記念館・池田文庫 公益財団法人 阪急文化財団 仙海 義之氏
理事・館長

午さん講演会にご出席のおすすめ

毎週金曜日の午さん講演会は、下記の要領で開催いたしておりますので、多数ご出席ください。
出席資格：倶楽部会員およびご同伴の方、会員会社の社員の方
時間：12時～13時40分頃 (講演12時40分～13時40分)
場所：3階大食堂
食事代：一人会員2,200円(税込) 非会員2,500円(税込)
予約：不要
着席：自由着席

「私と不動産事業」

藤野 研一
(関電不動産開発株式会社
 代表取締役社長)



会員の皆さん、こんにちは。関電不動産開発の藤野と申します。

今回は私と不動産事業のかかわり、そして不動産事業の面白さについて紹介させていただきます。

私は学生時代、土木工学科で都市計画学を専攻していました。就職する際にまちづくりに関与したいと思い、たまたま都市計画枠で採用があった関西電力に入社しました。電気はまちづくりに欠かせないものであること、関経連の会長会社を務めることもあり大きな仕事に携われる可能性があると思っただけです。

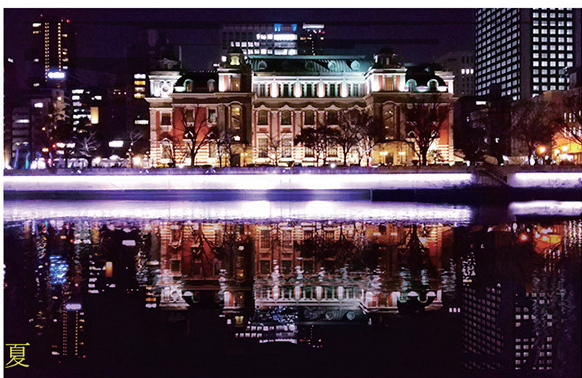
入社以降は営業に配属され、主としてソリューション営業を行なっていました。小泉内閣誕生の際にその目玉政策である都市再生を推進する組織である、内閣官房都市再生本部事務局に関経連経由で出向し、国家中枢での政策立案に携わらせていただきました。出向解除後も特命事項としてうめきた、中之島、夢洲などの大規模開発に携わるとともに、関経連の都市創造専門委員会のWG座長を十年務めるなど、まちづくりに関与し続けました。

そして一昨年、関電不動産開発に出向を命じられ、ついに不動産を本業とすることになったのです。関電不動産開発は

関西電力グループの中核会社の一つに位置付けられ、関西に軸を置きながらも、首都圏、仙台圏を中心に全国各地で分譲マンション、賃貸ビル、物流施設、ホテルなどの多様なアセットを保有し、北米、豪州、タイでの海外事業も展開するなど、総合デベロッパーの一角を担うまで成長している会社です。最近では私の学生時代とは異なり、不動産の知識に加えて、ゼロカーボン等のエネルギーの知識、証券化等の金融の知識も必要となり、単に都市計画を勉強していました、では通用しない業務になっています。

既存の事業を成長させることに加えて、データセンターのような新しいアセットへの取り組みや、熊本や長崎に集結しつつある大規模半導体工場向けの賃貸住宅の保有など、時代を先取りした取り組みを決断することも必要になっていきます。

このように、常にアンテナを張り、チャレンジし続ける必要がある不動産事業は、グループシナジーも期待できることから、非常にやりがいのある、面白い事業だと思っています。引き続き関西NO1、全国トップ10のデベロッパーを目指して頑張っていきたいと思っています。もちろん中央電気倶楽部の発展にも貢献させていただきます。



「大阪中央公会堂の四季」 個人会員 野上 勝也 君 撮影

撮影者のひと言

大阪中央公会堂の四季を一枚の写真にまとめました。

大阪市民なら一度は訪れている有名な建物です。贅沢ですが、毎日のように東に向って堂島川を歩くと出会います。写真を撮る人、結婚式の前撮りをするカップル、写生をする人が結構多い所です。春の桜、秋の大阪マラソンはもう撮れませんが四季折々に撮って楽しんでいます。

四季の中でも難しいのが矢張り夏の夜間撮影です。川の映り込みが難しく、ライトアップされている時間と上手くタイミングが合わず数回通った思い出があります。又冬の雪の日寒い朝からの撮影はこたえました。

歳がいったせいか最近では休憩時間の回数が増えてきましたが、大阪市内の写真を何とか歩くついでに撮れればと思っています。

(写真部員 野上 勝也)



株式会社 VIT Japan
代表取締役 猪谷 太栄氏

『コロナ後のベトナムビジネス状況とベトナムと日本の今後について』

猪谷 太栄氏 プロフィール

- 1999年3月 大阪市立大学 法学部卒
- 1999年4月 京阪電気鉄道入社
- 2004年1月 株式会社VSN(現あきない総合研究所)入社
- 2010年3月 あきない総合研究所退社
- 2010年6月 ベトナムへ

ベトナムの現状

ベトナムは、日本の八割くらいのサイズの国で、同じく八割くらいの人口があるイメージしていただければよいでしょうか。今年四月、ベトナムの人口は一億人を超えました。位置的には東シナ海の海沿いを這っているような形で、南北に長い国です。形状としては日本と似ていますが、南方にありますから、日本と比べて全体的に暑い。暑いときに

は南北両地域とも四十度近い気温になります。

国内には五十八省と五つの政府直轄都市があります。省は日本の都道府県のようなものです。北部のハノイ、中部のダナン、南部のホーチミンという三大都市、三大地域でベトナムという国が動いているイメージしていただければよいかと思えます。

一人当たりGDPは三千ドルを超えています。いわゆるモーターゼー

在留邦人の状況について

日本との関係が注目されていて、日本に住むベトナム人の数が増えたいへん増えています。現在五十万人弱です。ちよつとしたコミュニティができるサイズです。日本の人口は一億二千万人ほどですから、日本の人口の〇・五%、二百人にひとりと考えれば、ちよつとした少数民族くらいの割合です。日本のなかでも、これからはベトナム、そしてベトナムの人たちとの付き合い方が重要になってくるわけです。

逆に、ベトナム国内に住んでいる日本人の数は二万人ほどです。駐在員、あるいは一年、二年の長中期出張を含めれば、もう少し数が多くなるといわれていますが、統計としては二万人ほどです。ほとんどが六十歳以下二十歳以上の生産人口にあたる働き盛りの人たちです。当然、消費も活発になり、そのために二万人程度に過ぎないにもかかわらず、日本食のレストランが多かったりすることも特徴のひとつです。

ベトナムの

コロナウイルスの状況

ベトナムも例に漏れず、コロナが

大流行してたいへんな状況になりましたが、第一波といわれる二〇二〇年前半から二一年までは、ベトナムはコロナをものすごくうまく抑え込んだ国だったのです。二〇年四月にロックダウンがあったものの、二一年五月、六月にかけて、国内の飲食業にはほとんど問題はありませんでしたし、緊急事態宣言が発令されて人が集まれなくなったということもありませんでした。

ところが、二〇二一年五月、中国人の一部がデルタ株を広めてしまうというアクシデントがあり、そこから一気に広がりました。デルタ株は感染力が強かったものですから、国中がロックダウンに陥り、家から一歩も出ることができない生活を強いられました。出社もできませんから、工場も停めざるをえない。たいへんな状態でした。

当時のベトナム政府は、ワクチンを二回接種していれば重症率、死亡率をある程度下げることができると認識していて、国民に対して二回の接種を徹底させるための時間を稼ぎをしていたのだと思います。それが進み、二一年九月には国民の半分以上が二回の接種を終了。以降はニューノーマルといえますか、徐々に規制を緩和していきました。

翌二二年三月からはオミクロン株です。町中のいたるところで感染者が発生したのですが、ベトナム政府はニューノーマルの方針をそのまま推し進め、今にいたっています。落ち着きがみられ始めるとともに国外との往来も再開し、むしろ日本のほうが感染ピークの見極めがきづらく、なかなか元に戻せなかったというのが二〇二二年の状況でした。

感染者が出た地域は隔離です。コレラなどの指定伝染病が流行ったときのように、地域毎の封鎖になりました。二ヶ月間の完全ロックダウンのときは家から一歩も出ることができませんから、食料は配給です。しかし政府の配給を待ち続けても、それが全く届かない。結果的に一日一食となり、それもパン一枚というありさまでした。

工場では、感染者が工場内に入ってしまったらたいへんなことになりませんが、操業はどうしてもとめられない。そこでベトナム政府は、工場内で非感染者の全員が寝泊まりをするのなら操業してもよいという窮余の策を打ち出しました。工場内に感染していない従業員全員が詰め込まれ、工場内で寝泊まりをする。朝起きたら仕事をし、時間になればテントで寝る。結果、三ヶ月ほど工場

ションが一気に進み始めるような状況になってきていて、実際に自動車が増えていきます。最近では電気自動車が増えていて、ベトナムでは国産の電気自動車も生産が始まっており、これからの普及に注目しています。

ビール消費量の多さも特徴のひとつです。一億人ほどの人口にもかかわらず、ビール消費量は、なんと世界十位です。

から一步も出ていないという日本人駐在員もいました。散髪も自分でバリカンです。シャワーも水シャワーで、ホースで水をかぶってという感じでみんなが過ぎていました。ひとたび感染者が出てロックダウンとなると、普段は人で賑わっていても一気に人がいなくなり、普段は人と車であふれかえっている町が、まさしくゴーストタウンと化してしまいました。

実はわたしも一度コロナに感染しました。三回のワクチン接種をしてからオミクロン株に感染。三日ほど熱を出しましたが、比較的軽い状態でした。周囲の人たちも同じような感じで、感染しても二日、三日ほど寝込むだけで重症者は出ていません。日本のように大量のワクチンを購入する力があつたり整備された医療体制があれば、ベトナムでも違うコロナ対策がとれたのだろうと思います。弱者の戦略のなかで時間をうまく稼ぎながら、みんなにワクチンを接種させる。そうして重症化するのを極力避け、医療体制がパンクしないような対策をとつていたのがベトナムの対応です。

日本の場合、いまだに累計の感染者数が人口の五割にも満たないといわれていますが、ベトナムの抗体は、先をいくタイやマレーシアのように中進国の畏にはまらないよう腐心しているようで、そのひとつが積極的な汚職の摘発です。シンガポールのような先進国入りを果たした国に倣い、汚職撲滅に向けた取り締まりを強化し公正な社会を実現しようとしているところです。国をステツプアップしていくためには必要なことと、越えていかなければならないことです。

ベトナムのベトナム経済への影響について

ベトナムの経済は外国人観光客に依存している部分が強かったために、コロナ期間中、いわゆる観光産業関係は大きな打撃を受けました。たとえば航空業界では、ANAも出資をしているベトナム航空が三年連続で債務超過に陥ってしまいました。ベトナムの証券取引所のルールでは、三年連続の赤字決算もしくは債務超過となった時点で上場廃止となってしまうのですが、ベトナム航空はナショナルフラッグ企業ですから、ルールだからと上場廃止にして

チェックの結果をみると、八〇%以上が感染済みになっている。残りの二割ほども複数回のワクチン接種済みですから、免疫率一〇〇%のような状態です。今、感染者はまったく増えていません。これもベトナムの特徴のひとつだといえるかと思えます。

ベトナムの経済成長

チャイナシフトが加速しています。コロナ禍のときは中国との往来ができませんでしたし、何より中国のコロナ明けの対応により、今もビザがなければ入国できない。そこで中国リスクへの対応として、中国からベトナムに生産拠点を移転させようとする日本の企業がすごく増えています。日本だけではなく、欧米の企業、あるいは台湾、韓国の企業も含めて進んでいる動きです。ただ、すでにベトナムにある工場のラインを転用したりしているものですか、それが投資額としては目立っていません。中国でつくっていたものを、そのままベトナムでつくるこの形態を、わたしたちのなかでは「ステルス移転」といっています。投資額としてはみえてこないけれども、たとえばアップル製品の何割かはこ

しまうわけにもいかず、いまだベトナム航空は宙ぶらりんの状態となっています。

また、先ほど申し上げたように、ロックダウンで二ヶ月ほど何の活動もできない期間がありました。そのためにも学校関係、教育関係が甚大なダメージを受けました。ホテルをはじめとする観光業も、いまだに後遺症を引きずったままの状況です。コロナ前と比べて外国人観光客の数は六割、七割ほどの回復をするだろうとみられてはいるものの、問題は一度業界から離れてしまった従業員たちが戻ってこないことです。日本のように休業補償がなかったために、でこぼこ状態の人手不足が起きているのが現状かと思えます。

コロナ後、日本を含めて大半の国が順調に経済回復をしています。なかでもベトナムは、二〇二二年にコロナ封じ込めが成功したこともあり、翌年は一気に八%もの経済成長をしました。ところが、二〇二二年の第三四半期から二〇二三年前半は調子が一気に悪くなります。アメリカで利上げが行われ、アメリカ自身の景気が悪くなってしまったことが原因です。アメリカが利上げをすれば、ベトナムも付き合わせるをえませんが、同じように利上げをする。

のステルス移転が進んでいる状況で、すでに中国からベトナムに移転している。

加えて、ベトナムの人口はまもなく一億人に達しますが、これだけの人口がいれば内需は強くなります。一億人の人口はいろいろな面での底堅い需要を生み出します。国民一人当たりGDPが増えているのも、消費するパワーが大きくなっているからです。このベトナムの内需増を見据えた取り組みをしている企業も増えています。イオンに代表されるような小売り関係で積極的な動きをしていますし、B to Bで工場にモノを売っていくビジネスも大きく動き出している。内需に対する需要が高まってきていることを、わたしたちも肌で実感しています。

その内需の特徴のひとつは、平均年齢の若さです。ベトナムの平均年齢は、三十一歳です。まだまだ人口のボーナス期で、あと二十年弱はこの状態が続くといわれています。ベトナム政府でも、人口ボーナス期が続いているあいだに中流国から先進国へステップアップしようと考えていて、そのための政策をいろいろと打ち出そうとしており、そういう政府の意図が、いろいろな情報からわたしたちにも垣間見えています。

外国資金の引き上げを防ぐために、貸し出しの金利を一気に引き上げました。一番高いときには銀行の定期預金の金利が一〇%を超え、貸し出し金利にいたっては一四%、一五%にもなる。結果、ベトナムでは一気にバブル崩壊が起きました。

経済が伸びている国は不動産価格も上昇していきます。ベトナムももちろん、この五、六年、マンションも積極的に建設されてきました。ところが、建設業者にしる新築マンションを購入した人たちにしろ、ここまで金利が上がれば返済ができなくなってしまう。加えて、新規物件も高い金利を組んでまでは買えなくなる。一気にバブル崩壊し、去年の今頃から比べれば、物件の相場は三割ほど下がっているでしょうか。ひどいところになれば五割の下落で、もう投げ売り状態です。

ただし、基本的には成長過程にある国です。あと一年、二年ほどで在庫が一巡すれば、今のバブルも終わるだろうとは思っています。その意味では、日本を含めた外国の投資家たちにとっては今が買いのチャンスかもしれません。

「コロナ後のベトナムの
経済成長について」

内需が強いと申し上げましたが、
外貨を獲得するためにベトナムでも
輸出に大きく頼っています。主な輸
出先は中国、アメリカ、ヨーロッパ、
次いで日本という状況です。

輸出の品目は、実は携帯電話のよ
うな電子機器が多く、サムスンが輸
出全体の二割ほどを稼いでいる。ベ
トナム北部では十万人ほどの雇用を
生んでいて、関連会社も含めれば、
グループ全体で数十万人規模の雇用
を抱えている。サムスンの影響力が
極めて大きい国だということができ
ます。

ただ、今は携帯電話も少し不振気
味です。二〇二三年の第一四半期
は輸出額が大きく下落し、全体的
に一〇%ほど落ち込んでいる状況で
す。

アメリカ向け、ヨーロッパ向けの
輸出については、たとえば服飾関係
であれば、五ヶ月から六ヶ月先を見
越して、十月、十一月に販売するも
のを今つくっている。数か月先の需
要を予測して、ベトナムへの発注数
を今決めるわけですから、アメリカ
の景気が悪くなりそうだというとき
には、ベトナムは不景気のどん底に

まわしていくのが今のベトナムの
課題です。

物価についても触れておきます。
わかりやすいところで昼食代を比べ
てみます。

大阪市内でしたら七百円、八百円、
少し高くて千円を超える程度でしょ
うか。ホーチミンの中心部では、昼
食代は大体二百円から三百円程度で
す。内容は麺類であったり、おかず
が一品二品程度とごはん。それでも
わたしが住み始めた十数年前からは
倍くらいの値段になっています。ベ
トナムでは毎年一度二度の値上げが
あるのは当たり前となっています。

日本食のお昼や晩ご飯はどうかと
いうと、最低でも七百円、八百円し
ます。ベトナムでも円安の影響もあ
り、日本とほぼ変わらない値段です。
ちなみに、タイで日本食を食べよう
とすれば日本よりも高くなってお
り、シンガポールに至っては倍くら
いの値段になっています。

味のほうは日本とそれほど差がな
いレベルになっています。ホーチ
ミン市内には日本食レストランが
四百、五百軒あるといわれています
し、チェーン店も含めて、種類だけ
でも数十種類はある。ラーメンが食
べたいとなれば、以前は「あの店し
かない」という感じだったのですが、

なってしまうわけです。そのために、
ベトナムの輸出の好不調がアメリカ
やヨーロッパの景気の先行指標にな
ります。

二〇二三年の第一四半期、第二四
半期は、輸出高にブレキがかかっ
ている状態です。あと半年後くらい
には、アメリカなどの市場はかなり
厳しい状況になるのだろうと思われ
ます。ところが逆に、その時期にな
ればベトナムの景気がのびり始めて
いくという感じになるでしょう。

ベトナム政府も外需だけでなく、
内需を喚起するために様々な施策
を打ち、公共投資も打っています。
その効果も出てきて、二〇二三年の
第三、第四四半期にはベトナムの景
気が持ち直し、結果、今年は六%台
半ばの経済成長になるだろうとい
われています。八%から六%半ばの
成長に落ちたとはいえ、日本に比べ
れば比較にならないほどの高成長
です。

「ベトナムと日本の比較」

ホーチミンやハノイの中心地の商
業施設の様子は、日本とほぼ変わり
ません。日系企業では高島屋さんが
出店し、それが旗艦店となっています。
土日になれば、日本の百貨店で

今は「今日はこのラーメン屋さん
にしようか」というくらいにレパ
トリが豊富になっています。

タクシー事情で比べてみると、ベ
トナムでは初乗り一キロで百円ほど
です。日本から比べれば、かなり安
くなります。ただし、バイクに乗ら
ない人、特に外国人にとってはレン
タカーを借りるかタクシーに乗るし
かありません。一度の利用なら安く
済ませられても、それが毎日となれ
ばものすごい額になってしまふ。ま
た、どこに移動するにもタクシーを
使わなければならないときもありま
すし、日に三回、四回とタクシーを
使わなければならないときもある。
結局、タクシー代だけで数万円にな
る場合もあつたりします。ここは日
本との違いかもしれません。

タクシーに関するもう一つの話
題ですが、今、電気自動車のタク
シーが増えつつあります。ベトナム
最大級の財閥「ビンググループ」が
二〇一九年から電気自動車の開発に
乗り出し、二二年、ようやく電気自
動車が本格的に走り出すようになり
ました。しかし、電気自動車の価格
は高く、普及が進まないために、そ
れならばとビンググループ自身、自
分たちでタクシー会社をつくり、自分
たちの電気自動車をタクシーとして

もここまで混んでいるところはない
というほどの賑わいです。

中心地ではショッピングセンター
がどんどん増えていて、イオンも出
店しています。他にも数多くの出店
があり、ブランド店の進出も増えて
いる状況です。

ユニクロもすでに十店ほど出店し
ていて、コロナの期間中でも無印良
品とマツキヨが進出し、それぞれ順
調に進展していると聞いています。
朝夕のラッシュ時は人やバイクや
車があふれ、特に雨の日にはたいへ
んなことになり、さらなる公共イン
フラの整備が求められる状況です。

地下鉄もあります。公共交通とい
えるまでにはなっていない。ハ
ノイによく一号线といわれる初
めての地下鉄が完成し、ホーチミン
は来年の頭くらいになるでしょう
か。

ただ、地下鉄を含めた鉄道は、一
本だけでは都市鉄道としては役に立
ちません。二本、三本、そしてクロ
スしていくようになって初めて移動
に役立つ公共交通になる。一号线、
三号线ができるまでには、まだ十年
くらいはかかるだろうといわれてい
ます。公共交通手段がないなかで、
みんながバイクに頼っている現状
で、どうやって都市の交通をうまく

走らせるようになりました。母体が
ベトナム最大級の財閥ですから、事
業開始から三ヶ月ほどで、それまで
最大規模を誇っていたタクシー会社
の保有台数を抜き去りました。現在、
ホーチミン市内、ハノイ市内で電気
自動車のタクシーの普及が進んでい
ます。おそらくこの一年、二年で、
タクシーの主力車両は電気自動車に
なるだろうといわれています。

さらに東南アジアの国々では当
り前になっているシェアライドタク
シー(Grab)というものがすぐ
く進んでいるのも日本との違いで
す。個人事業主が自分で車を買
い、タクシーアプリを使いながら配車
をするという、十五年前にはまった
くなかった形態だったので、将来
性抜群、いざれ公共交通機関に取
つてかわるような存在になるといわ
れていることもあって、今や過当競争
のような状態となっています。

現地の外国人たちは、大体が大き
なコンドミニアム(マンション)に
住んでいます。分譲で買い取るのは
たいへんですから、賃貸が主になる
のですが、家賃は日本円で九万円か
ら二十六万円といったところでは
しょうか。サービスパートのような
感じで掃除や洗濯までしてもら
うなら、もう少し高くなります。日本

と違うのは、マンション内にジムやプールが併設されていることでしょうか。暮らしやすいといえますが、健康的な生活を送りやすい状況にはなっています。

また、ベトナムは世界でも有数のカフェ文化の国となっていて、ホーチミン、ハノイのいたるところにカフェがあります。フランス植民地時代の名残のひとつがカフェです。少し商売などが成功して小金持ちになれば、みんなカフェを始めます。本場にカフェが町中にあふれています。店舗は、おそらく日本との建築基準法の違いのせいでしょうが、クリエイティブティを發揮したデザイン力の高いカフェがあちこちにあります。若者たちがそういうカフェ巡りを楽しんだり、仕事が終わったあと、友人たちとカフェを楽しんだりもします。

日本ではこの二十年ほどで外資系のスターバックスコーヒーが席巻していますが、ベトナムでは苦戦しており、店舗数はほとんど増えていません。スターバックスのように画一的なデザインのところはそれほど評価されないのもベトナムの特徴のひとつです。

ベトナムの株式市場上位三十社をみると、ベトナムバンクをはじめ

〈韓国企業の進出〉

タイは日系企業の牙城状態となっているのに対し、ベトナムは韓国企業勢が多くを占めています。ベトナムには日本人と同じくらい韓国人が在留しています。韓国料理店もたくさんありますし、いろいろな職種、いろいろなポジションで韓国人が働いています。

今、韓国国内は異常なまでの競争社会になっています。そこで、外国に活路を見出そうとして、一家移住のような形でベトナムに渡り、現地の韓国企業に就職するケースが増えているのです。ベトナムで子どもたちを育てたほうが学費も安くつき、二十万円を払っても、高麗大学、ソウル大学などの上位校に行けて財閥系企業に就職できるという保証もないわけですから、それなら外国に移住し、現地で英語のできる環境で子育てをしたほうがよいと考えるわけです。実際に今、ベトナムでは韓国人たちが一大勢力となっており、あらゆるビジネス分野で韓国系企業はしっかりと根を張っている状況です。

とする金融系が十二社を占め、次いで不動産・建設系六社、そして食品系三社となっています。ちなみに日本の株式市場での時価上位三十社のうち、メガバンク、ゆうちょ銀行をはじめとする金融系は四社しかありません。バブルのときには日本でも金融系が多数を占めていた時代があり、金融を中心として国が発展していましたが、オーバードンク状態だったこともあり、その後は金融系は合併を繰り返しながら数を減らしていきました。現在のベトナムは高度成長国であり、オーバードンクでもかまわない状態ですから、上位三十社のうち十二社を金融系が占めているのだと思いますが、今後二十年、三十年と成長を続けていくなかで、ベトナムも日本と同様、金融系も合併を繰り返しながら集約され、産業も成熟していくでしょう。そうなれば、新興国の仲間入りができるのだらうと思います。

ベトナム人はよく働くといわれていますが、ベトナムの最低賃金は日本円にして三万円ほどです。都市部で生活するには厳しすぎる額です。都市部では今、一番下のポジションで月四万円くらいの給料でなければ、さすがに生活できない状況になってきています。優秀な人材、

〈コロナ後の外国人観光客の状況〉

ベトナムを訪れる外国人観光客数は二〇二二年三月から戻り始め、千数百万人程度になっていきます。コロナ前の二〇一九年の六割から七割に戻ってきている感じでしょうか。中国人観光客も四月から一気に戻り始めていて、今年は三百万人くらいになるだろうと見込まれています。これが増えれば、さらなる上振れになるかと思えます。

ただし、日本人観光客の戻りが異常に悪い。観光、ビジネス出張を含めた二〇一九年の外国人入国者千九百万人のなかで、日本人は百万人ほどを占めていました。それが二〇二一年には、八分の一の十二万人にまで落ち込みました。この年、ベトナム全体として二五%、一六%ほどまで落ち込んでいましたから、それほどは目立ちませんでしたが、今年に入っても日本人観光客数はまったく戻っていないことは、現地でも話題になっています。二〇二三年五月までの月平均をみると、五万人ほどしか戻っておらず、単純計算すれば二〇二三年の年間日本人観光客数は五十万人を切ってしまう。コロナ前の半分しか戻ってきていないことになり、これに対して韓国

Tエンジニアなどは日本人と変わらないレベルです。

特徴的なのは、日本のような新卒の一括採用がまったくないことです。ポジションが空けば、そこに誰を埋めようかという採用になる。終身雇用という思考がないために、経験のない新卒など採用しても仕方がないと考えている。その意味では、新卒にとっては大変狭き門となっております。おそらく大卒の新規採用率は八割を切っているのではないでしょう。そのため、日本でエンジニアとして働けるのならと日本にやってくる人たちがいまだにいるわけです。

一方、管理者の給料は極端に高くなります。大手企業の工場長ともなれば、月収で数万ドルのレベルです。日本の場合、大手企業の工場長で月三百万円もの給料をもらっている人はほぼいないと思います。ベトナムでは優秀な人ほど高給になり、上下の給料格差はつきりしている点に注意をしなければなりません。日本の従業員の給料はこのくらいだから、という発想でベトナム人の給料を考えると、望む人材はきてくれないと思ってください。特に管理職ポジションでは優秀な人材は採用できません。

人は二〇二三年一月から五月までに百数十万人が入国しており、年間では三百万人以上、コロナ前の七割弱まで戻らるうといわれています。これをみても、日本人の戻りだけが悪いことがわかります。

もちろん、ビジネス関係はある程度戻ってきているのですが、観光に近い人、つまりビジネスも関係しているけれども、観光を大半の目的にしている日本人入国者の戻りが悪いのです。そのために、日本人向けのガイドたちは今年になってもお客さんがいない。たいへんなことになっています。

〈さいごに〉

ベトナムはまだまだ成長していく国だということが、今日のお話でもご理解をいただけたと思います。これから十年がベトナムの黄金期です。人口面でも平均年齢は三十歳で、人口ボーナス期が二十年弱は続きますから、一気成長のタイミングがここから十年だと思っています。二〇三〇年代半ばにかけてがベトナムにとって、自分たちの国を成長させていくために、どういうふう外国企業と付き合っていけばよいのかということとを考える期間となります。

倶楽部だより

●●●●● 新入会員のご紹介
(七月理事会承認・八月入会)

【個人会員】
末廣 訂君(昭和十六年生まれ)
現職 株式会社 白扇 社長
(紹介者) 西牧 隆利 君
松本 好治 君

月山 将君(昭和三十一年生まれ)
現職 関西電力(株)
常務執行役員
(紹介者) 疋田 孝純 君

●●●●● 社名変更案内
新会社名
日本リーテック株式会社 西日本電力支店
(旧) 日本リーテック株式会社 関西統括支店

●●●●● 事務所移転案内
株式会社ニチゾウテック
移転先 〒五四一・〇〇五八
大阪市中央区南久宝寺町 三・一・八
電話 〇六・六二二四・〇二二六
FAX 〇六・六二四一・三三三三
MPPR本町ビル九階
住電HSTケーブル株式会社
移転先 〒五三〇・〇〇〇五
大阪市北区中之島 三・二・一八
電話・FAX 変更なし
住友中之島ビル四階

●●●●● 新規会員のご紹介のお願い

当倶楽部の発展のためには、会員企業の皆様そして個人会員の皆様の新入会員の紹介が何よりも大切です。「明るく、親しみのある倶楽部」として会員皆様に倶楽部ライフを楽しんでいただき、大切な交流の場として活用いただけるよう事務局一同頑張つてまいりますので、何卒お力添えのほどよろしくお願いいたします。

ご入会希望の方には、事務局がいつでもお伺いしご説明いたしますので、ご紹介方よろしくお願ひいたします。

(会費・入会金)

区分	会員区分	内容	金額
入会金	指定会員	1社(団体)	7万円
	個人会員	新規入会	3万円
		会員歴あり	2~5年未満 1万円 5~10年未満 5千円 10年以上 無料
月額会費 会員一名	指定会員	一律	5,000円
	個人会員	毎月払い	4,300円
		半年払い	4,050円
		年一括払い	3,800円

●●●●● 貸室キャンセル料について
令和二年八月より
コロナウイルス蔓延時に適用しておりましたキャンセル料金の緩和措置を令和五年八月末日で終了いたします。

ホール キャンセル料		
①使用日の3ヶ月以内	室料	10%
②使用日の1ヶ月以内	室料	30%
③使用日の2週間以内	室料	50%
④使用日の7日以内	室料	100%
511・513号室 キャンセル料		
①使用日の1ヶ月以内	室料	30%
②使用日の2週間以内	室料	50%
③使用日の7日以内	室料	100%
上記以外の会場		
①使用日の7日前	室料	30%
②使用日の5日前	室料	50%
③使用日の前日・当日	室料	100%

(当倶楽部休館日を除く・営業日換算・使用日含む)

講演録 コロナ後のベトナムビジネス状況とベトナムと日本の今後について

CLUB GRAF くらぶ・ぐらふ


●午さん会(3月17日)
『少子化・子育て・日本の未来』
孫持ち世代の意識の持ち方』
育児カウンセラー
一葉 ちかこ氏



●午さん会(3月31日)
『甲子園の審判は見た』
奇跡の試合』
(有)オフィスキジマ 代表取締役
元日本野球規則委員会委員
元日本高校野球連盟 審判規則委員会委員長
木嶋 一黄氏



●午さん会(4月7日)
『ウクライナの教訓』
パシフィズムが日本を滅ぼす』
アゴラ研究所 フェロー
(公財)国家基本問題研究所
客員研究員
潮 匡人氏



日本企業はこれまで、ベトナムには製造拠点として関わることを中心に置いてきました。今後は、ベトナム国内で商品売っていくことを考えていくこと、そして、ベトナム人の人材とどのようにして付き合っていくのかを考えることの二つが一番取り組むべき分野になるかと思えます。

わたしが住み始めた十四年前と比べれば、ベトナムは今、まったく違う国になっています。「ベトナムのマーケットを知りたい」という相談を受けたときには、特にそれが「コロナの前はよくベトナムに行っていた」という話から始まったときには、必ず「コロナ前の情報は古すぎますよ。もう一度ベトナムに来て、ぜひ情報のアップデートをしてください」

「と答えています。新興国ならではのデメリットもありますが、ITツールが次々に発展していくなかで、ビジネスのやり方そのものが変わってきていることがよくあります。日本の高度経済成長期もそうだったはずですが、状況はまったく変わっています。日本だけですべてのことを完結していくのは、もう難しい時代に入っていると思います。日本が素晴らしい素晴らしいという問題ではなく、人材不足の問題も含めて、日本だけで何かをしていくのは難しくなっています。そういうときには、やはり伸びている国と付き合っていくことが重要です。二〇〇〇年代を日本がうまく乗り越えてきたのは、伸びている中国とうまく付き合っていたからです。今の二〇二〇年代、

これからの三〇年代は東南アジアです。現在伸びている地域である東南アジア、なかでも最も伸びているベトナムとうまく付き合っていくことが重要で、ベトナムは日本にとって欠かさない存在だと思います。企業の大小にかかわらず、自分たちはその国とどういうふうにつき合っていくのかを、それぞれの会社それぞれ課題として考えていくことが大事なことです。

やはり、百聞は一見に如かず、是非、現在の今のベトナムを見に来てください。

(令和五年六月十六日
講演抄録文責在記者)

文化探究会見学会実施

個人会員 中島 美繪子

六月二十日(火)に春の文化探究会見学会を実施。奈良、京都に向かいました。最初に訪れた平城宮いざない館は朱雀門の近くに位置しています。この中で唐の都を模して造られた平城宮の説明を受け、平城宮全域の復元模型と大型映像に映し出される千三百年前の都の様子の一部を見ました。地下に埋蔵物が多くあり、そのため世界遺産に認定されている由。現在復元が進行中なので時を経て訪れると更に良いでしょう。

修学旅行生でにぎわうなら和み館で昼食の後、福寿園CHA遊学パーク(京都府木津川市)に行きました。ここでは参加者自ら石臼で挽いた抹茶を、実際に茶筴を用いてきめ細かく立てていただきました。お味は格別でした!ほかに茶の由来、世界の茶に関する珍しい展示も見ました。

最後に国立国会図書館関西館に向かいました。二〇二二年、国立国会図書館法により設置されています。十八歳以上の国民は登録により資料、情報、電子情報等を利用できます。天井から自然の明り取りもあり、落ち着いた環境で閲覧でき、カフェテリアもあります。見学で案内された広い書庫には、古い満州の地図や旧国鉄時代の時刻表などもありました。

見学会では初めて聞き取ることも多く、実際に体験し、よく歩き、バスの車窓からの眺めも趣があり、よい旅でした。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



朱雀門にて

電社会講演会実施

「江戸時代のSDGs (石田梅岩の『事跡』を通じて)」

電社会(代表幹事 猪谷勇三氏)は、七月六日(木)二十名の参加のもと、大和商業研究所 所長で作家の清水 正博氏を講師に招きご講演いただきました。

まず清水氏は、自分は大学卒業後スパーのイズミヤに入社し、そこで商品と一緒にお客様に真心をお渡しすることを学んだと自己紹介。

そして在職中に江戸時代の思想家石田梅岩の「石門心学」に出会い人生観が変わったと述べられました。

「石門心学」では、売り買いだけで労せずして利益を得ると蔑視されていた商人の精神的苦境を救うため土農工商という現実社会の秩序を肯定し、それを人間の上下ではなく単なる職業区分ととらえるなど、儒教思想を取り込むような形で庶民に説いていき、儉約や正直、堪忍といった教えを広めていったと説明。

そうして江戸時代を通じて根付いたもつたいない精神は現在のリユース、リサイクルの考え方にも引き継がれており、直して使う、資源保護を行う、風呂敷で色々な物を包んで運ぶ等の江戸時代の暮らしは世界に誇れるものであり、発信して行くものであると締められ講演を終えました。



講師の清水 正博氏

食堂よりのお知らせ

いつもお世話になり、有難うございます。八月一日より三階大食堂にて、期間限定「和風ローストビーフ丼」をご用意させていただきます。

柔らかな牛肉に自家製和風ソースと温玉を絡めてお召し上がりください。

どうぞ宜しくお願い致します。



和風ローストビーフ丼 ¥1,800(税込)

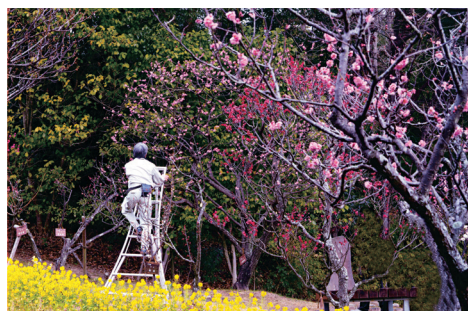
令和五年度 写真部作品審査発表会

(選者 渡辺 瑞男先生)

令和五年七月六日(木) 写真部作品審査発表会が開催され、次の作品が入選となりました。おめでとうございます。

○「須磨離宮公園」撮影会作品

- | | | |
|-----|-------------|--------------|
| 推薦 | 最後の剪定作業 | 野上 勝也 君 |
| 特選 | 紅梅寸景 | 鈴木 惇 君 |
| 準特選 | 1・2・3・4・5・6 | アー大きなソフトクリーム |
| 準特選 | 帝の逃げ道 | 山本寿美江 君 |
| 入選 | 梅林のメジロ | 玉置 喜章 君 |
| 入選 | 梅の花園 | 土田 博 君 |
| 入選 | 水の花園 | 野上 勝也 君 |
| 入選 | 水の宮殿 | 玉置 喜章 君 |



「最後の剪定作業」
野上 勝也 君 撮影

○「彦根城」撮影会作品

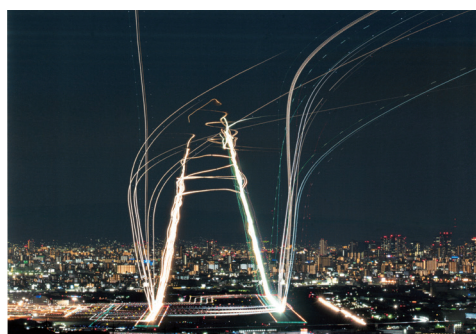
- | | | |
|-----|--------|---------|
| 推薦 | 燈火に浮く桜 | 岡本 勝士 君 |
| 特選 | 桜を染しむ | 鈴木 惇 君 |
| 準特選 | 桜と天守閣 | 土田 博 君 |
| 準特選 | 武家屋敷 | 野上 勝也 君 |
| 入選 | 散り始め | 山本寿美江 君 |
| 入選 | 花筏 | 鈴木 惇 君 |
| 入選 | 夕暮れの桜 | 岡本 勝士 君 |



「燈火に浮く桜」
岡本 勝士 君 撮影

○自由作品

- | | | |
|-----|----------|---------|
| 推薦 | 伊丹の光跡 | 玉置 喜章 君 |
| 特選 | 輪舞 | 古谷 昭雄 君 |
| 準特選 | シルエット | 山本寿美江 君 |
| 準特選 | 満開の桜の下で | 野上 勝也 君 |
| 入選 | 今何時? | 渡部 昌子 君 |
| 入選 | 年初めの虹 | 玉置 喜章 君 |
| 入選 | 王侯貴族の薔薇園 | 古谷 昭雄 君 |



「伊丹の光跡」
玉置 喜章 君 撮影

◎絵画部(水彩画)教室

七月度(五日・水曜日)の画材は、「人物・裸婦」でした。

次回は八月二日(水)「静物・花」です。

◎囲碁部 例会(七月八日)

成績

二勝 八段 山田 進君

〃 四段 竹内 建君

(参加者 四名)

(次回例会は八月五日(土))

◎将棋部 例会(六月二十四日)

成績

二勝 六段 井上 清志君

〃 五段 楠本 光秀君

(参加者 六名)

(次回例会は、夏季懇親会)

八月二十六日(土)指導あり

◎ゴルフ部 第五六四回 例会

(七月六日 晴れ 於泉南CC)

成績

優勝 河内 正志君

二位 中野 米蔵君

三位 及川 瑠美君

(ゲスト)

・優勝コメント

六年前に中央電気倶楽部のゴルフ部に入会してから昨年の十二月に続いて今回二回目の優勝をさせていたたき大変有難く嬉しい限りです。

当日は梅雨の晴れ間の最高温度が三十三度の真夏日で湿度も高く最後の方はバテバテでダボ、トリプルと大叩きしました。それでも優勝できたのは前半の貯金と何より同伴者の松山三男様及川千春様とのスムーズなラウンド、楽しい会話、ストレスのないゴルフができた事に他なりません。

お二人には本当に感謝しております。

これからも暑い日が続きますが皆様にはお体に気をつけて今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

(次回例会は、八月二日(水))

第五六五回例会 茨木高原CC

◎撞球部 例会(七月一日)

成績

優勝 菱谷 泰三君

二位 島津 二郎君

三位 池端 博君

四位 藪内 正次君

五位 奥谷安規子 さん

(参加者 十二名)

・優勝コメント

今回月例会にて久しぶりの優勝が出来驚きと嬉しさで一杯です。

前週のカードル研究会に誘って頂き、諸氏のセットアップ、キュー出し、メンタル面の強さに感じる所があり実践出来た事が好結果に繋がりました。

何時まで続くかわかりませんが精進致します。

勝負事ですから勝ちたいのは山々ですが、プレイ後のビール一杯のうまさ又楽しい一時は何物にも代えがたい時間です。

月例会初め各会にお誘いいただきありがとうございます。

これからも宜しくお願ひ致します。

(次回例会は八月五日(土))

◎俳句部

第八百五十一回 いなづま句会

俳誌「かつらぎ」主宰 森田純一郎先生指導
令和五年六月十七日

兼題 当季雑詠五句

選者吟

句碑談義しつつ住職草を刈る
路線バス大緑蔭を抜けにけり
口開けアンテナめくや梅雨茸
灼けに灼け宅急便のまた停まる
うつろへる世は閑せずと端居かな

いなづま句抄

- 日向灘なれやブーゲンビリア赤 富山 勝幸
- 米どころなれや青田の風匂ふ 難波 正行
- 櫻若葉瞬くごとき狭庭かな 野尻 弘輔
- 黄粉餅思ひ出しもす田植かな 渡邊 建彦
- 屑出さぬ藁縄編みて祭待つ 東代 舞
- バチカンに近き宿りや明易し 広田 祝世
- 一枚岩覆へる泉暗きかな 奥村 恵子
- 鳩の菜や板一枚の舟着場 友岡 淑子
- 木浅れ日のベンチよるしき薄暑かな 前野美枝子
- 吊橋に揺られ揺られて鮎の宿 木下 貴友
- 大橋の手すりの真下春の草 留岡 寛
- 一品に瀬の音もあり鮎料理 出店智恵呼

(○印選者選)

(注)

梅雨茸(つゆきのこ)・・・「茸」は秋の季語ですが、「梅雨茸」は梅雨時の朽木などに生える茸のこと(夏、室内の暑さから逃れるために縁先へ出て外気に触れ、庭の風景を楽しんだりすること(季語))

ブーゲンビリア(ぶーげんびりあ)・・・南国原産で紅や紫の花を咲かせる。宮崎空港は愛称として「宮崎ブーゲンビリア空港」と呼ばれている(季語)

青田(あおた)・・・田植をした苗が伸びて、一面青々となった田のこと(季語)

黄粉餅(きなこもち)・・・奈良では「きなぷり餅」「半夏生餅」と呼ばれる「黄粉餅」があり、田の神様に稲の豊作を祈つて食べる風習がある。

藁縄(わらなわ)・・・祇園祭の山鉾はクギを使わず、藁縄だけで固定して組み立てられている。

明易し(あけやすし)・・・夏の夜の明けるのが早いことを言う(季語)

薄暑(はくしよ)・・・初夏、五月ごろの、うすすら汗ばんでくる暑さを言う(季語)

他倶楽部案内

●●●● 清交社の午さん講演会の案内

会場：ANAクラウンプラザホテル大阪 三階飛鳥の間
時間：十一月二十分～十二月三十分

八月一日(火) 講題「エンジョイベースポールの真実」 高校野球解説者(NHK) 元米子東高校監督 杉本 真吾 氏

八月八日(火) 講題「第2ステージに入ったAI革命の全貌」 東海東京証券株式会社 営業統括部長 佐々木 英敏 氏

八月十五日(火) 休会

八月二十二日(火) 講題「生前整理の必要性」 「何より心の整理が大切」 遺品整理士 メモリーズ(株)代表取締役 横尾 将臣 氏

八月二十九日(火) 講題「健康で楽しい人生を送るには」 大阪市立大学名誉教授 医学博士 荒川 哲男 氏

※状況により中止になる場合があります。

◆出席ご希望の方は、当倶楽部事務局に二日前までにお申し込み下さい。

◆会費/三,〇〇〇円(昼食代消費税込後日精算) 前日の午後五時以降は、キャンセル料が発生します。

☆クルーズ(十月末まで)